



発行 (財)神戸国際交流協会 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9-1 (神戸国際会議場内) ☎ (078) 302-5200 FAX (078) 302-6485
インターネット http://www1.meshnet.or.jp/kobe-mic/kia/ e-mail: p074207@kia.exd.city.kobe.jp

第19回日本神経科学大会

7月10～13日

世紀に向けた脳研究が世界的に盛んになっています。昨年には日本で世界脳研究機構(BRCO)の国際会議が開かれたのを受け、本年は日本の脳研究者の多くを集めて(1600人参加予定)、物質レベルから精神、行動、そして臨床にいたる脳研究の成果について討論します。特にシンポジウムでは、分子生物学や最先端技術をどのように脳研究に生かしているか、今後の展望について議論されます。



1996年7月10日～13日第19回日本神経科学大会が神戸国際会議場にて開催されます。この1990年代は「脳研究の時代 Decade of the Brain」といわれるように21

開催にあたって

会長 岡田 安弘
(神戸大学医学部 生理学教授)

物質レベルから精神、行動、そして臨床にいたる脳研究の成果を討議

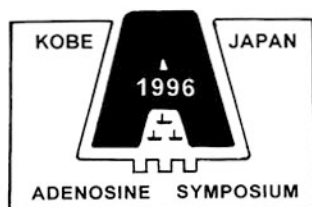
19回日本神経科学大会会長、神戸大学医学部教授)を予定しています。

また、本神経科学大会の特別企画として、市民のための一般公開講座「脳とこころ」21世紀への脳研究」を開催(7月10日13:30～16:30)します。この公開講座では「脳のはたらきとこころ」について誰にでもわかるように易しく解説し、脳研究の今後の展望についてお話ししていただきます。講師としては伊藤正男教授(日本学術会議議長、日本神経科学学会会長、河合隼雄教授国際日本文化研究センター所長)、岡田安弘教授(第19回日本神経科学大会会長、神戸大学医学部教授)を予定しています。

アデノシン国際シンポジウム

7月13～16日

内外の研究者
100人が討論



神経科学大会に続けて開催されることになりました。本シンポジウムには、国内外のこの分野の研究者100人が集まり、アデノシンの脳神経系における生理作用について討論します。脳に内在するアデノシンは、記憶障害や脳循環の改善に活用される物質として最近注目を集め、このシンポジウムにおける成果が期待されています。

第19回日本神経科学大会特別企画

一般公開講座

「脳とこころ—21世紀の脳研究」

日時:平成8(1996)年7月10日(水)13:00(開場)13:30～16:30

場所:神戸国際会議場メインホール(ポートアイランド)

演者: (1)「脳とからだ」

岡田安弘(第19回日本神経科学大会会長)

(2)「こころは存在するか」

河合隼雄(国際日本文化研究センター所長)

(3)「脳科学から心への接近」

伊藤正男(日本学術会議議長、日本脳神経科学学会会長)

主催:日本神経科学学会

後援:文部省科学研究費(B)兵庫県 神戸市 兵庫県医師会

神戸市医師会 兵庫県予防医学協会 神戸新聞社

事務局:〒650 神戸市中央区楠木町7-5-1

神戸市大学医学部生理学第一講座

Tel.(078)341-7451 内線3223

一般市民向けの公開講座ではございますが、神経科学学会の方もどうぞ御来聴下さい。(ご来聴の際は、神経科学大会参加名札をお付け下さい。)

特集



神戸商工会議所
集客都市推進特別委員会
委員長

中内 力

「神戸で会議を」(2)

復興はこれからが正念場

阪神高速神戸線開通を契機に

あの阪神・淡路大震災から1年半が経過しようとしているが、関係各方面の懸命な努力により、神戸経済も漸く明るさを取り戻し、徐々に回復しつつある。しかし、まだまだ克服すべき課題も多く、復興はまさにこれからが正念場である。

特に集客関連産業は、時間の経過とともに震災に関する報道が少なくなる中で、直後の強烈な震災イメージがそのまま生き続けており、観光入込客数の激減や国際会議開催件数の減少など、非常に厳

くりをすすめる、内外から人、モノ、情報が集まり、交流する「集客都市」をめざして、観光、コンベンション、あるいは大規模集客施設の整備などに積極的に取り組んできた。その良好な都市イメージが今回の震災で、根底から覆り、こ

や神戸ルミナリエなどを推進してきたが、この秋の阪神高速道路神戸線の開通を契機に年末にかけて行政や関係業界と一丸となって計画しているイベントやキャンペーンにも積極的に参加し、観光客の呼び戻しに取り組んでいきたいと

のままだ復旧が遅れると、二度と元には戻らなくなることも懸念され、早急にイメージアップの対策を講じていく必要がある。

また、私は、集客関連産業の復興の早道は、コンベンションではないかと思っている。コンベンションは会議のみならず、飲食、宿泊、エキスカンションなどのアフターコンベンションまでを含めると、関連業界の裾野も広く、大きな経済効果があるからである。国や経済団体などでは神戸での会議開催による被災地支援をしてもらっているが、地元の行政や経済界も従来以上にコンベンションの呼び戻し、誘致に努めるとともに、さらにその輪を広げて、市民の理解と参加を得ながらホスピタリティの向上にも努めていく必要がある。



6月5日、通信・放送機構神戸リサーチセンター、神戸情報通信研究開発支援センター開所式

今回郵政省の下部組織、通信・放送機構が設置した両センターは、次世代総合防災通信ネットワーク及び次世代デジタル映像通信の研究開発と情報通信分野における起業支援を目的とするもので、6月5日(水)神戸ポートアイランドにある神戸国際交流会館内に開所した。3年後には神戸市が設置するデジタル映像研究所に業務を移

「神戸国際マルチメディア文化都市構想」の推進母体発進

6月通信・放送機構神戸リサーチセンター 神戸情報通信研究開発支援センター開所

管する予定である。神戸国際会議場の開所式には、政府、地元自治体、経済界などからおよそ300名が出席し、情報集積発信都市としての神戸への期待が強くうかがえた。

この他、日中、上海・長江・神戸・阪神交易促進委員会第1回専門部会」も6月3日(月)に神戸国際会議場で開催されている。



Convention Stage

国際都市・神戸だからこそ、ホテルゴーフリッツでは、あらゆるお集まりにふさわしいコンベンションステージをご用意いたしております。

客室121室/レストラン&バー7店/宴会場7室
結婚式場・チャペル/ファッションライブラリー

HOTEL GAUFRES RITZ

TEL(078)303-5555 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目1番
ポートライナー市民広場駅北 神戸商工会議所と隣ビル

5月 提言型シンポジウム としても大いに評価!

スミソニアン協会会長 来日記念シンポジウム

神戸市では復興プロジェクトの1つとして20世紀の日本のめざましい発展を支えた科学技術・産業・文化の成果をテーマ別に収集・検証・展示し、総合的体系的に21世紀に継承していくこととする「20世紀博物館群構想」を推進している。そこで、神戸市、読売新聞社、(財)神戸国際



5月24日、スミソニアン協会会長来神記念交流会館開催風景(ホテルオークラ神戸)

体は昨年の1850団体を大きく上回り、今年は2065団体を数

2065団体が参加 EIBTM 欧州コンベンションセミナーには 神戸も参加、さっそく手応え

え、約6500人の総入場者、65カ国約3000人のバイヤーが参加していた。他方、コンベンションセミナーも同様で3か所合計133人の招待者が訪れた。

いずれにおいても震災後力強く立ち上がったという神戸の姿をPRし国際会議誘致のセールス活動をするため、最近の神戸の様子を写したアルバムを見せるとともに、神戸特集記事を載せた英字新聞・雑誌の増し刷りや神戸コンベンションセンターのパンフレットを配布した。その結果、当協会にFAXレターが入り、ホテルの情報が必要というコンタクトがあるなど確かな手応えがあった。

神戸に新たなステージ誕生!

国際会議場 ポートピアホール
(1,700名収容)
1997年3月竣工

席数	ホール機能
●1,700席 (1階/1,308席 2階/392席)	●6か国同時通訳設備 ●コンサートホール対応 残響可変装置 音響反射板設置

ご予約・お問い合わせは Tel.078-302-1111

ポートピアホテル
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

9月28日「健康靴」をテーマにパネルディスカッション 9月28日～29日「足にやさしい靴の公開展示」など

健康な生活を維持するためにはよく歩くことが必須で、そのためにはよい靴を履くことが大切。しかしどのような靴が健康によいかについての医学的解明は、従来なされていませんでした。

そこで1986年、同好の整形外科医が集まって「靴の中で足がどのように機能しているか、またいかに機能すべきか」という問題を検討し、より履きやすい、健康によい治療靴、一般靴の開発を求めて、日本靴医学研究会が結成され、1987年10月18日、第1回学術集会が、鈴木良平長崎大学教授のもとに、東京で開催されました。本研究会は、1990年の第4回学術集会より、研究会から「日本靴医学」へ改称され、日本学



術会議の審査を経て、国が公認する学術団体へと発展いたしました。その後、回を重ねる間に、健康によい靴を制作するための足の機能解剖、起立歩行の分析、病的な足に対する治療靴のデザイン、各種スポーツシューズの開発等の研究がなされ、新知見が累積されるなどの成果をあげてまいりました。また、医師以外に、生活科学者、靴産業関係者等の参加を得、800人を超えるようになりました。

その日本靴医学会の第10回学術集会が9月28日、神戸国際会議場で開催されます。

今学会では、通産省生活科学局の提唱する「健康靴」をテーマとしてパネルディスカッションを行うほか、特別講演は、奈良医大整形外科高倉義典助教授の「整形外科における足底挿枝治療」を予定しています。

また、市民の方々を対象に、9月28日・29日、国際会議場で「足にやさしい靴の公開展示」を行う

第18回全国地域リハビリテーション研究会 8月30・31日サービス向上へ

21世紀の超高齢化社会の到来に向け、高齢者や障害者を含むすべての人々が地域で、等しく社会参加のできる社会の構築が課題となっています。また、昨年起こりました未曾有の阪神淡路大震災の苦しい経験からもすべての人々が安心して生きがいのある暮らしが営める社会づくりを積極的に進めなければなりません。

本研究会は保健・医療・福祉の連携を通じて



て地域におけるリハビリテーションサービスの向上を図ることを目的として、本年8月30日(金)31日(土)の2日間、神戸国際会議場で開催されます。

特別講演として、「高齢者のノーマライゼーション」講師・伊藤雅也氏(厚生省大臣官房審議官、「障害者プラン・ノーマライゼーション7カ年戦略について」講師・廣井良典氏(社会保険大学校教授、「兵庫県復興計画(フェニックスプラン)について」講師・辻寛氏(兵庫県理事)の3題を予定しております。また、事例報告「兵庫県の地域リハビリテーション最

神戸に新たなステージ誕生!

国際会議場 ポートピアホール
(1,700名収容)
1997年3月竣工

席数	ホール機能
●1,700席 (1階/1,308席 2階/392席)	●6か国同時通訳設備 ●コンサートホール対応 残響可変装置 音響反射板設置

ご予約・お問い合わせは Tel.078-302-1111

ポートピアホテル
〒650 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

世界の海事教育者が集う 第9回国際海事教育者会議 9月16～20日

(9th International conference on Maritime Education and Training)

第9回国際海事教育者会議は先導技術と船舶運行をテーマに、9月16日(月)から20日(金)まで神戸国際会議場で開催されます。この会議は国際海事教育者協会(IMET)が主催する。IMETは、世界の海事教育機関に所属する教官で構成する協会であり、現在60カ国、285名が正会員となっています。

船舶の国際的な運行基準は国連の専門機関である国際海事機関(IMO)が国際条約として定めて船舶の安全性、船員資格を国際的に統一しています。IMTAは、このIMOの専門諮問機関として船員の資格、教育訓練などに関する提言



を行っていただきます。ご存じのように最近神戸港へ入る外航船の殆どが外国籍であり、これらは外国人と日本人の混在形態で運航されています。海運の国際化は他産業にとっては風見鶏と言われるほど進んでおり、各国が自国の船員を育てるだけでなく、相互に協力することが強く求められています。このような時期に国際海事機関で世界の海事教育者が集って、これからの海事教育のあり方を議論するとともに、復興しつづける神戸港を目のあたりにすることができるとは、参加者にとっても、また神戸港にとっても極めて意義深いことと考えられます。会議では海事の教育訓練の将来展望と共に、世界の船員需要の主たる供給源であるアジア・アフリカなどにおける教育の現状と課題などについて30編の論文が発表されます。

第1回Vascular Medicine 学会 7月5日 血管病の概念の確立へ

近年、細胞・分子生物学を基礎として、血管研究は急速な勢いで進歩し、新しくVascular Biologyの潮流を形成しつつあります。血管医学の発展も、この新しい視点を抜きにして見通すことはできません。

私共は、Vascular Medicine研究会を昭和61年3月に発足させ、血管壁構成細胞の細胞・分子生物学的視点から、循環器疾患・病態にアプローチするための学術討

論の場として、日本循環器学会の会期にあわせて学術集会を重ねてきました。この間の研究活動を通じて、基礎生物学研究者との学際的交流、さらに動脈硬化、血栓、高血圧、糖尿病等の臨床専門領域間の交流を促進させることによって、血管の機能・疾病構造を生物学的に考究することの重要性を学んできました。

このたび、この研究会の活動をより深めるため、Vascular Medicine学会を設立し、第1回目の学会を平成8年7月5日に神戸国際会議場で開催することになりました。

学会の基本理念は、血管を一つの臓器として捉え、新しい臨床分野としての血管病の概念を確立することです。病態を細胞・分子レベルで究明し、種々の疾病と血管との係わりを明らかにし、基礎生物学の確かな成果に裏打ちされた臨床医学を展開したいと考えています。

新神戸オリエンタルホテル
TEL.078-291-1121(代)

〒650 神戸市中央区北野町1丁目
東京営業所 〒105 東京都港区西新橋1-7-14(虎ノ門) 垣見ビル6F
TEL.03-3503-1085

●JR山陽新幹線・市営地下鉄・北神急行「新神戸駅」と直結
●三宮駅(JR・阪神・有明)より地下鉄3分(徒歩12分) ●大阪国際空港より車で40分

国際会議からレセプション、セミナーを総合的にプロデュース

ホテルオークラ神戸は、2,500名様収容の大宴会場「平安の間」をメインに充実の設備を整え、国際都市神戸の多様な集いをサポートいたします。

ホテルオークラ神戸
〒650 神戸市中央区波止場町2番1号 メリケンパーク内
TEL.(078)333-0111

ご宴会予約専用フリーダイヤル0120-016489

住宅関連見本市

「KOBÉインターホーム'96」 9月4～7日



昨年の会場風景

住宅関連見本市「KOBÉインターホーム'96」が、9月4日～7日まで、1990年にスタートして以来、今年で7回目を迎える同見本市は、国内、海外の多くの企業・団体が参加し、住宅、設備、建材など住宅に関するあらゆるものが展示される西日本、本格的な住宅関連見本市となっている。

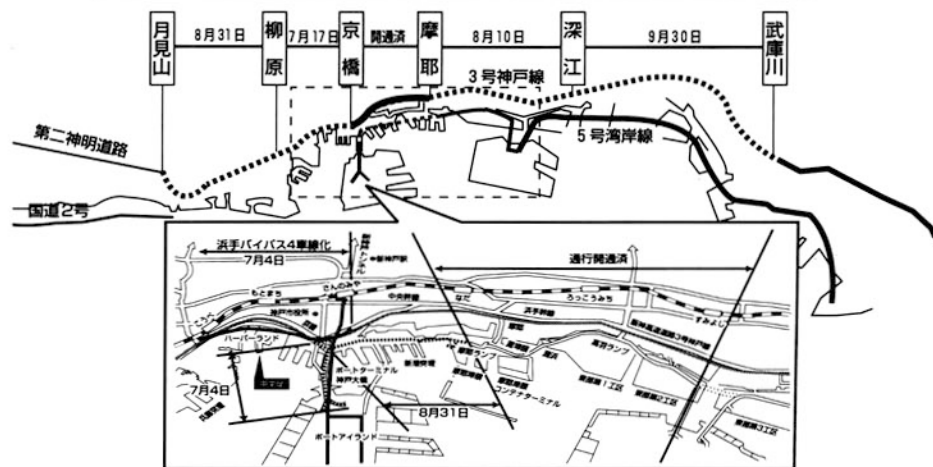
今回は、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた住宅の早期復興を支援するため「住宅復興支援」をテーマに①耐震・免振

住宅の早期復興を支援 記念講演やシンポジウム

住宅関連見本市「KOBÉインターホーム'96」の4日間、神戸国際展示場で開催される。

技術②輸入住宅③高齢者・身障者対応住宅（バリアフリー住宅）④省エネ住宅などを柱に多くの展示物が紹介される。特に、注目を受けている輸入住宅では、北米を中心に海外から原寸大の住宅が展示されるほか、バリアフリー住宅関係では、疑似コーナーなども設けられ、バリアフリーが体験できる。

阪神高速3号神戸線9月30日に全線開通



1. 神戸大橋及び国道2号線浜手バイパス 8年7月4日
2. 阪神高速道路3号神戸線
 - 柳原～京橋 8年7月17日
 - 摩耶～深江 8年8月10日
 - 月見山～柳原 8年8月31日
 - 深江～武庫川 8年9月30日
3. ハーバーハイウェイ
 - 新港第4突堤～摩耶埠頭 8年8月31日

7月4日に全面開通いたします。これにより、神戸コンベンションセンター1へのアクセスは完全に復旧することとなりました。長い間ご不便をおかけいたしました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

震災対策技術展 '97

1997年1月16・17日 神戸開催



阪神大震災を教訓に

安全で快適な都市づくりへの新しい提案

1997年1月16日から17日の2日間、神戸国際展示場で「震災対策技術展'97」が開催される。震災対策技術の向上と対策設備の推進を初め、主催は（財）神戸国際交流協会。後援は、全国知事会、全国市長会、全国町村会、兵庫県、（財）阪神淡路産業復興推進機構、神戸市。

昨年1月、阪神・淡路地域を襲った阪神大震災を教訓にして、震災対策の重要性が再認識されるとともに、その対策技術と設備に対する関心は非常に高いものがあります。震災への備えから震災直後の緊急対応、救援、復興活動までの対策技術と設備の展示、シンポジウム開催を通じて、安全で快適な都市づくりを目指した新しい提案を行います。

（電話0783030029）

（神戸国際交流協会）

本市部まで

（電話0783030029）

タンザニア展

9月3日～15日
神戸貿易促進センター



（財）神戸国際交流協会とタンザニア連邦共和国大使館は、

9月3日から15日まで、神戸貿易促進センターで、「タンザニア展」を開催する。同協会が発展途上国からの輸入促進を目的に開催している展示会としては、69回目。入場は無料。

会場では、タンザニア産品を展示するほか、国情や観光の紹介、マコンデ美術展などで構成する。

問い合わせ先

（財）神戸国際交流協会貿易促進部

電話 078-303-0033

編集後記

阪神・淡路大震災による被災のため、不通になっていた阪神高速道路3号神戸線が、予定より1ヵ月早く、9月30日に復旧することが決定されました（詳しくは左記のとおり）。また、神戸コンベンションセンターと神戸市街を結ぶ神戸大橋も、7月4日に全面開通いたします。これにより、神戸コンベンションセンター1へのアクセスは完全に復旧することとなりました。長い間ご不便をおかけいたしました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

21世紀へ飛躍する神戸経済の殿堂「神戸商工会議所会館」

（神戸国際会議場に隣接） 各種コンベンションにご利用下さい



ホール・会議室では講演会・セミナーから国際会議・各種展示会まで参加人数や催物の目的に応じて多彩にご利用頂けるよう最新の設備と各種機器を備えています。

- ホール1室3タイプ教室型（90、150、264名）162～452㎡
- 特別会議室3室定数型（28、16、18名）49～97㎡
- 一般会議室3室6タイプ教室型（45、36、84、90、126、180名）90～326㎡

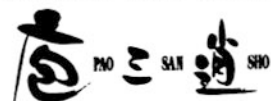


神戸商工会議所
〒450 神戸市中央区港島中町6丁目1番
●お問い合わせ 078(303)5804

明日のお仕事、神戸のどちらですか？
スタートラインは北上ホテルから



大型車 駐車可
朝食は、評判の中華朝粥



シングル ￥7,500～
ツイン ￥12,500～
ダブル ￥12,500～

神戸市中央区加納町4丁目8-19

ご宴会078-360-2267 ご宿泊078-391-8781